

# 倶多楽の火山活動解説資料 (平成24年12月)

札幌管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

### ・ 噴気などの表面現象の状況 (図1-①、図2)

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上概ね50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

### ・ 地震及び微動の発生状況 (図1-②)

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

### ・ 地殻変動の状況 (図1-③)

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

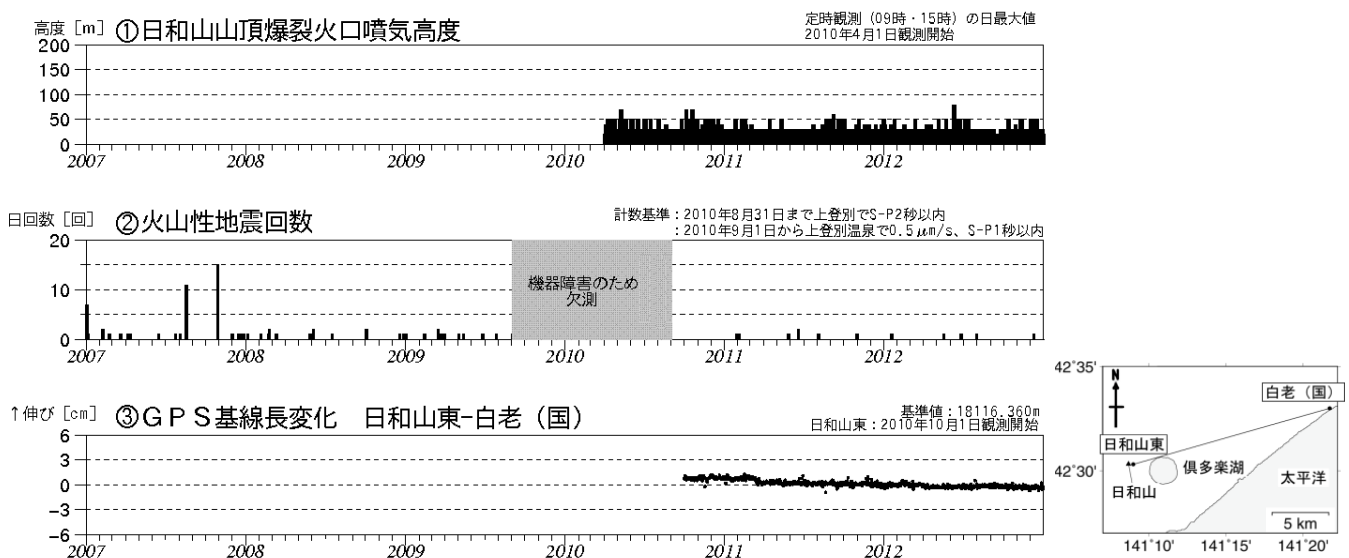


図1※ 倶多楽 火山活動経過図 (2007年1月～2012年12月)、GPS連続観測点配置図

- ・ ③のGPS基線は右図に対応しています
- ・ (国): 国土地理院

この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号 平23情使、第467号)。

次回の火山活動解説資料 (平成25年1月分) は平成25年2月7日に発表する予定です。



図2 倶多楽 日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況  
(12月11日、414m山遠望カメラによる)

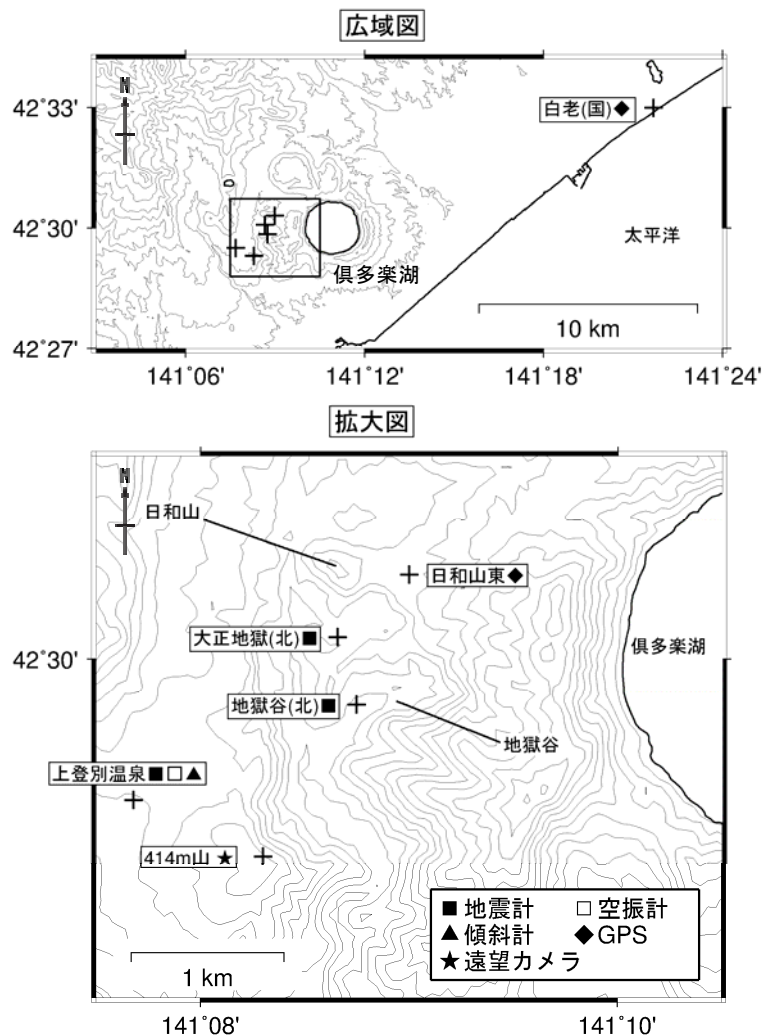


図3 倶多楽 観測点配置図  
 広域図内の口は拡大図の範囲を示します  
 +印は観測点の位置を示します  
 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています  
 (国)：国土地理院  
 (北)：北海道大学